

イーストスプリング インド投資マンスリー

2024年5月号

インド投資マンスリー
動画配信中！



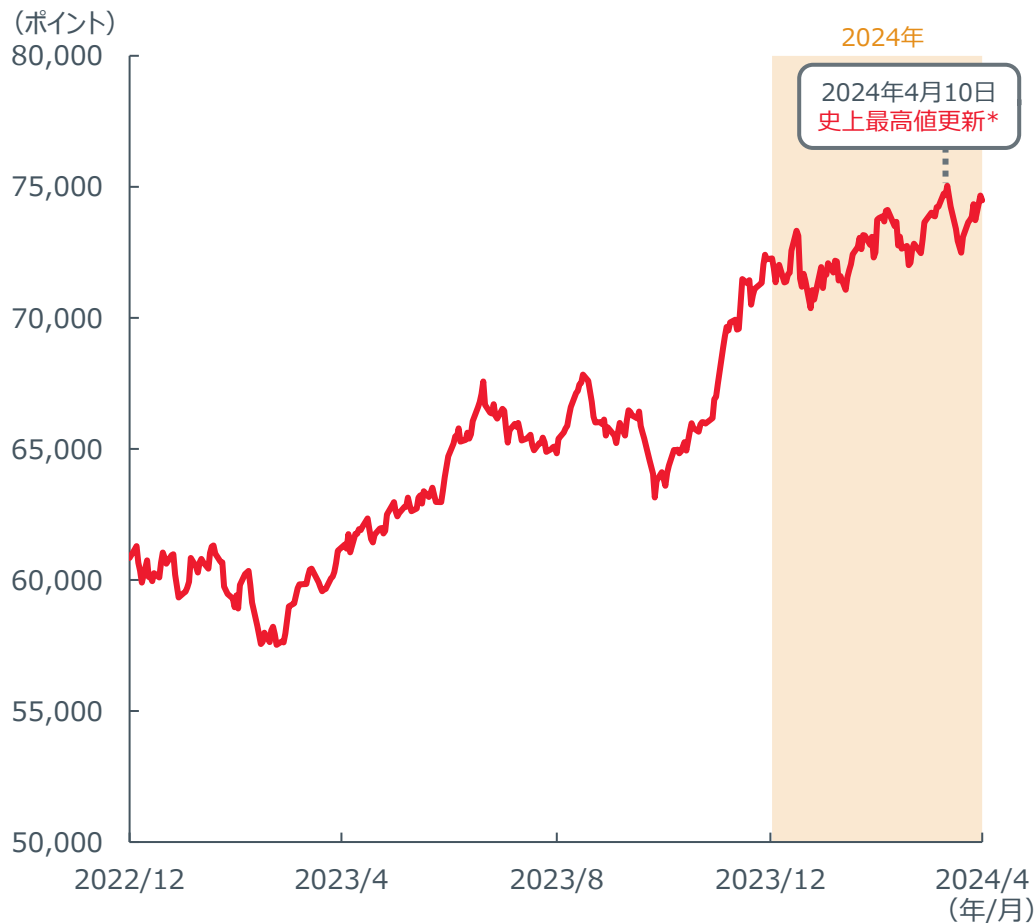
イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号
加入協会 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。
最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社である
ブルーデンシャル・アシュアランス社とは関係がありません。

株式：3か月連続で上昇、上旬に史上最高値更新

SENSEX指数の推移 (2022年12月末～2024年4月末、日次)



2024年4月の振り返り

インド株式 (SENSEX指数) は月間で1.1%上昇しました。企業業績が堅調であったことや良好な経済指標を背景に10日に史上最高値 (終値ベース) を更新、中旬には中東情勢の悪化懸念などから調整する局面があったものの、月末にかけて世界的に株価が上昇した流れを受けてインド株式は3か月連続で上昇しました。中型株、小型株はそれぞれ7.1%、9.6%の上昇でした。

セクター別では、金属、公共事業が上昇率上位だった一方、IT、ヘルスケアは軟調な結果となりました。投資主体別売買動向では、国内機関投資家は純流入となった一方、海外機関投資家は純流出となりました。

なお、12日発表の2月の鉱工業生産指数 (IIP) は前年同月比5.7%上昇しました。また、財務省が5月1日に発表した3月分 (4月徴収分) の物品・サービス税 (GST) の徴収額は、2.1兆ルピー (前年同月比+12.4%) と過去最高額を更新しました。

規模別指数の期間別騰落率 (2024年4月末時点)

	1か月間	3か月間	6か月間
大型株 (SENSEX指数)	1.1%	3.8%	16.6%
中型株 (BSE中型株指数)	7.1%	8.6%	34.8%
小型株 (BSE小型株指数)	9.6%	3.5%	28.2%

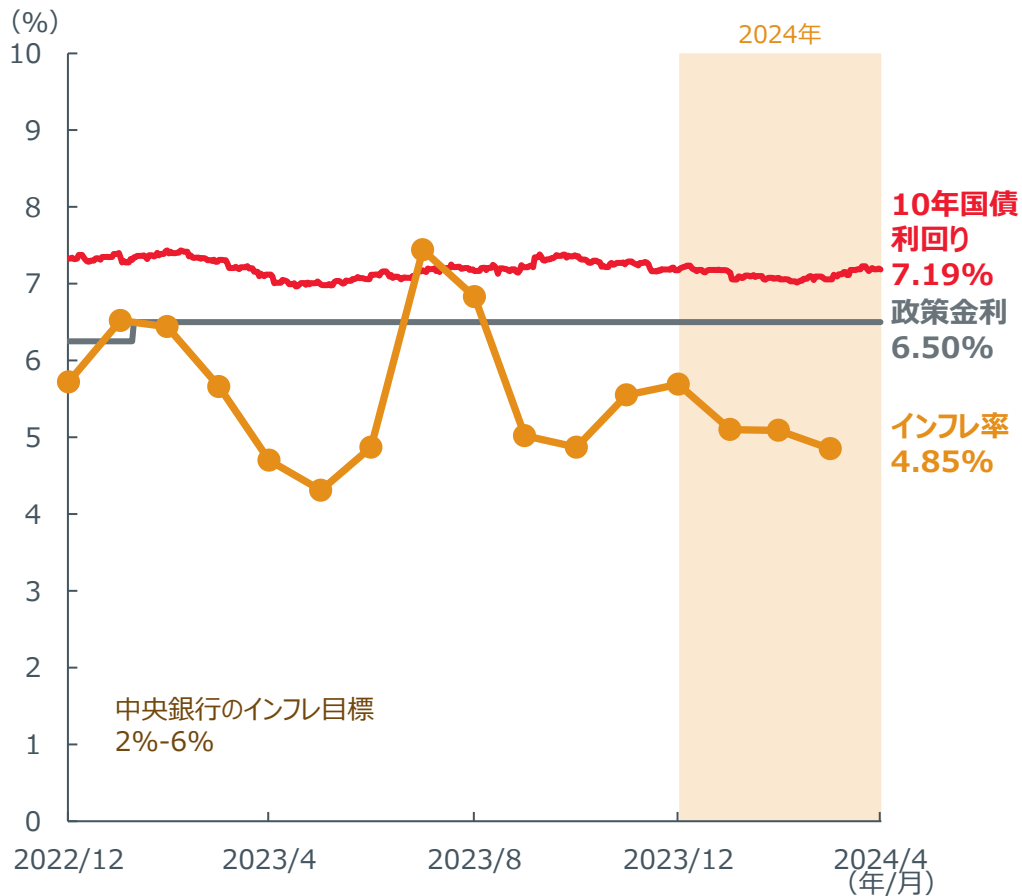
出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
※全てプライス・リターン、インドルピーベース。*終値ベース。

● この資料の最終ページにご留意いただきたい事項を記載しております。必ずご確認ください。

債券：インフレ率は低下、10年国債利回りは上昇

政策金利*、インフレ率**、10年国債利回りの推移

(2022年12月末～2024年4月末、日次)



2024年4月の振り返り

10年国債利回りは上昇（価格は低下）し、7.19%で月を終えました。

FRB（米連邦準備制度理事会）の利下げ開始が遅れるとの観測や、原油価格の高騰、中東情勢の悪化などが利回りの上昇要因でした。

5日に開催された金融政策決定会合で、インド準備銀行（RBI、中央銀行）が7会合連続で政策金利を6.50%に据え置いたことも利回りの上昇要因となりました。

12日発表の3月のインフレ率は前年同月比+4.85%と、5か月ぶりの低い伸びとなり、7か月連続でインフレ目標範囲内に収まりました。

債券利回りと利回り差の変化幅

	2024年4月末	2024年3月末	変化幅
10年国債利回り	7.19%	7.06%	0.13%
10年社債利回り***	7.60%	7.53%	0.07%
利回り差	0.41%	0.47%	-0.06%

出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

*レボ金利、**消費者物価指数（CPI）上昇率（前年同月比）、同項目のみ月次。新基準（2012年=100）による統計を使用。2024年3月まで。

***10年社債利回りはBloomberg FIMMDA India Corporate Bond Curve AAA 10 Year Corporateの利回りを使用。

利回り差等については四捨五入の関係で数値間で整合しない場合があります。

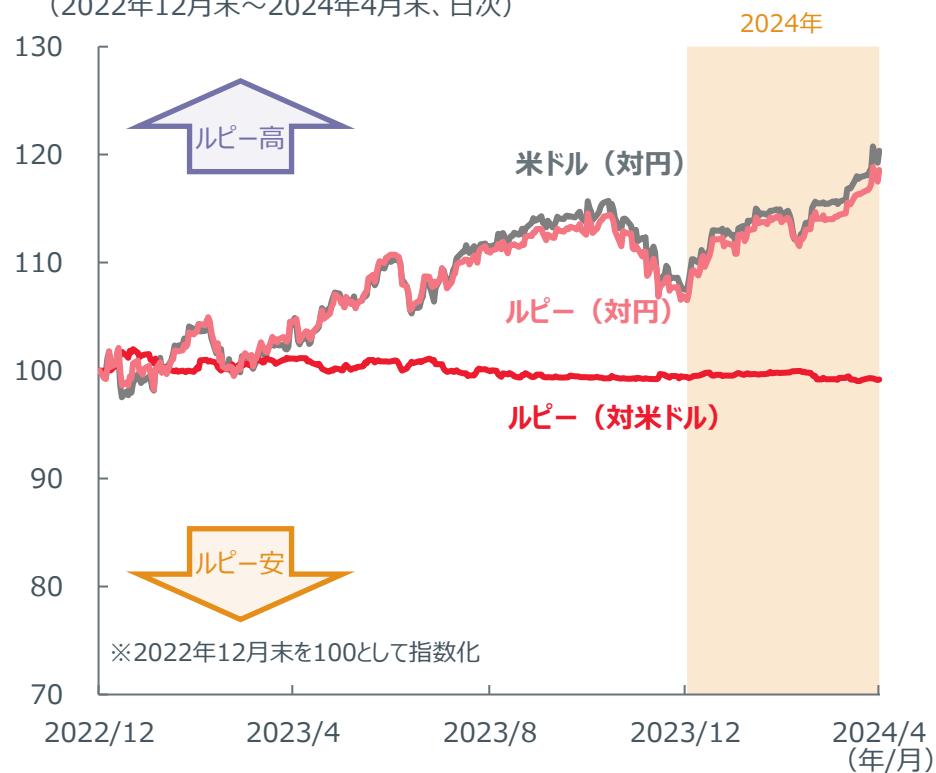
● この資料の最終ページにご留意いただきたい事項を記載しております。必ずご確認ください。

為替：ルピーは対米ドルではほぼ変わらず、対円では上昇

- 4月のルピーは、対米ドルではほぼ変わらず、対円では4.0%の上昇となりました。
- 2020年以降のルピーの動きをみると、他の新興国通貨と比べて対米ドルで相対的に安定した推移となっています。

ルピー（対米ドル、対円）の推移

(2022年12月末～2024年4月末、日次)



主要新興国通貨（対米ドル）の推移

(2019年12月末～2024年4月末、日次)



出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

IMF世界経済見通し：インドのGDP、2025年に日本を抜き4位へ

- 国際通貨基金（IMF）は4月に最新の「世界経済見通し」を発表しました。2024年の世界のGDP成長率は+3.2%と予測し、前回（2024年1月時点）から0.1ポイント上方修正されました。また、**インドの2024年予測値は+6.8%**と、前回から0.3ポイント上方修正されました。**好調な内需と生産年齢人口の増加等を背景に2025年も+6.5%**と堅調な成長が見込まれています。
- 名目GDP（国内総生産）ランキングでは、インドは従来予測（2023年10月時点）より1年早く、**2025年には日本を抜き世界第4位**に、また、**2027年にはドイツを抜き世界第3位**になると予想されています。

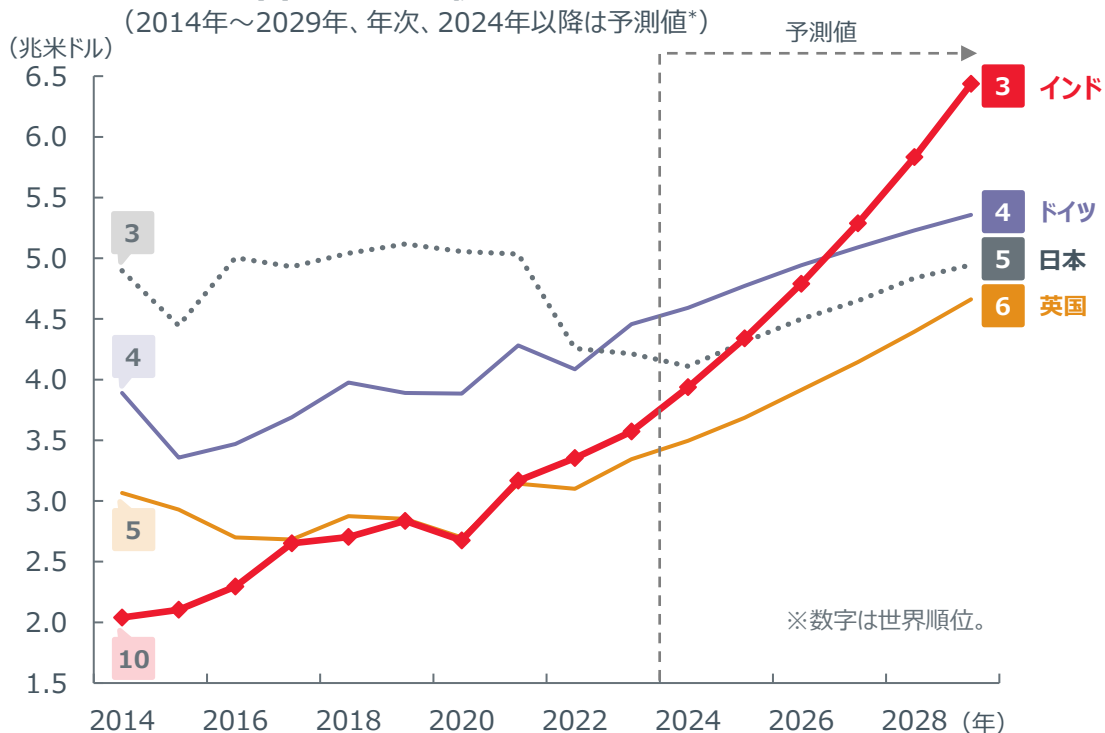
主要国・地域の実質GDP成長率見通し

（単位：％、2023年～2025年）

	2023年	2024年	2025年	
	(推計)	(予測)	(予測)	
世界	3.2	3.2	3.2	
先進国	1.6	1.7	1.8	
	米国	2.5	2.7	1.9
	ユーロ圏	0.4	0.8	1.5
	日本	1.9	0.9	1.0
	英国	0.1	0.5	1.5
新興国	4.3	4.2	4.2	
	インド	7.8	6.8	6.5
	中国	5.2	4.6	4.1
	ブラジル	2.9	2.2	2.1
	メキシコ	3.2	2.4	1.4

各国の名目GDPの推移

（2014年～2029年、年次、2024年以降は予測値*）



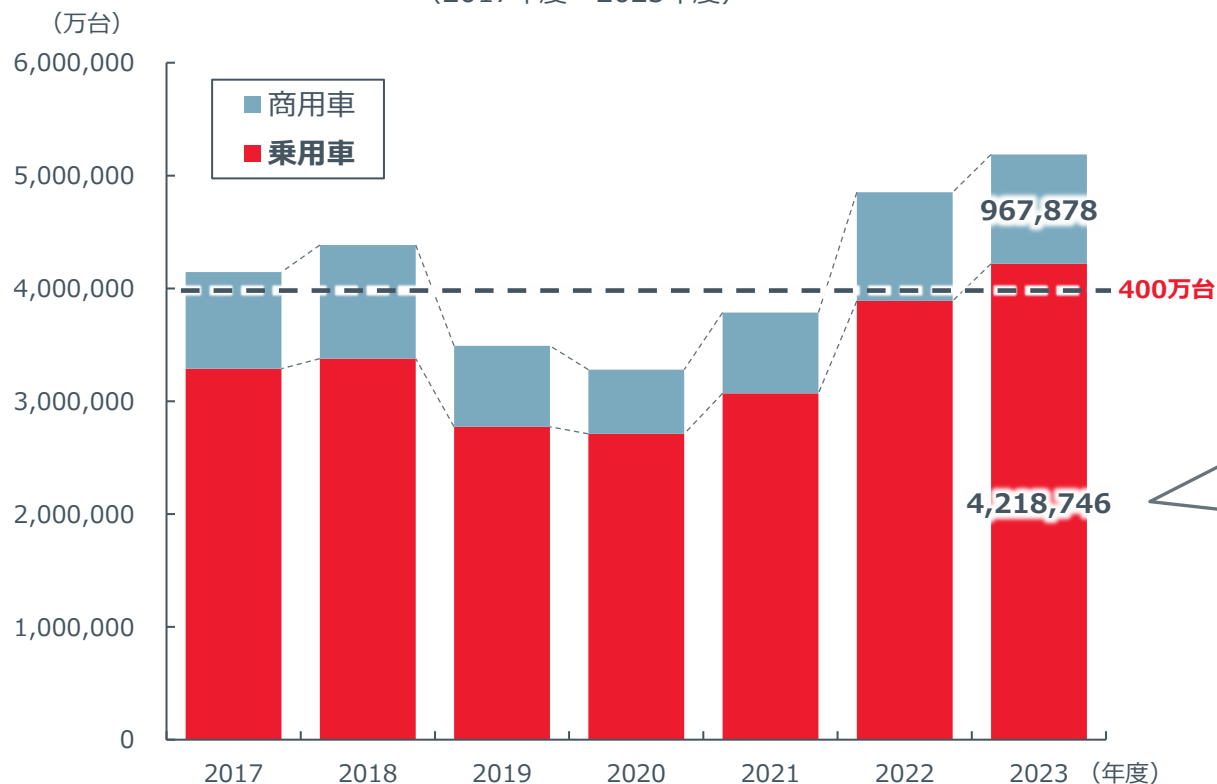
出所：IMF世界経済見通し（2024年4月）のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

*英国は2023年以降予測値。

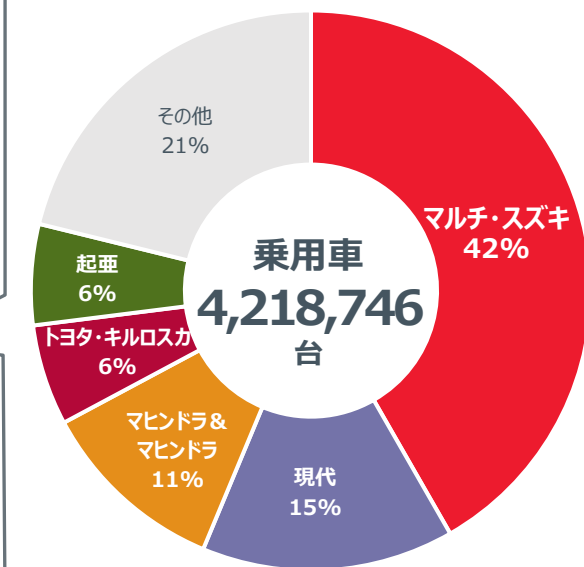
2023年度のインド新車販売台数、過去最高を記録

- インド自動車工業会（SIAM）は4月12日、2023年度（2023年4月～2024年3月）の国内新車販売台数（出荷ベース）を発表しました。同年度の販売台数は乗用車、商用車ともに、前年度に続いて**過去最多を更新**しました。特に**乗用車については初めて400万台超え**を記録しました。
- 乗用車の国内新車販売台数のうち、メーカー別のシェアをみると、**マルチ・スズキが42%で首位**を占め、現代が15%、マヒンドラ＆マヒンドラが11%と続きました。インドでは、人口の増加や所得の向上などを背景に、自動車市場の拡大が続いており、今後もさらなる拡大が見込まれます。

インドの新車販売台数の推移
(2017年度～2023年度)



2023年度、乗用車のメーカー別シェア*
(上位5社)



出所：インド自動車工業会（SIAM）、各種報道等に基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

*四捨五入の関係上、合計値が100とならない場合があります。

※一部メーカーについてはSIAMのデータには含まれません。※インドの会計年度は4月から翌年3月まで。例えば、2023年度は2023年4月～2024年3月。

● この資料の最終ページにご留意いただきたい事項を記載しております。必ずご確認ください。

当資料に関してご留意いただきたい事項

- 当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。
- 当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。
- 当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。